

## 2【保護者：学校教育についてのアンケート】

### (1) 集計結果

#### ① 学校教育への評価

<A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない>

番号	学校の教育活動への評価内容	A+B (数値は%)	
		R5	R6
1	学校は、教育目標や教育方針等をわかりやすく知らせている。	95	98
2	学校は、授業や教育活動等を進んで保護者や地域に公開しようと努めている。	95	100
3	学校は、子供たちに基礎学力を身につけようと努めるとともに、家庭での学習習慣（宿題をきちんとするなど）を定着させるために取り組んでいる。	96	100
4	学校は、可能な限り、豊かな体験活動を通して、ふるさとを愛し、誇りをもたせる教育活動に取り組んでいる。	95	98
5	学校は、子供が進んで読書活動に取り組めるように環境を整備したり、読書指導に取り組んだりしている。	93	89
6	学校は、生活指導（あいさつ、正しい言葉づかい、早寝・早起き、朝ごはん等）に取り組んでいる。	96	94
7	学校は、いじめ防止や友達となかよく助け合って生活しようとする「なかまづくり」に取り組んでいる。	91	93
8	学校は、安全（交通安全、事故防止、不審者対策など）に対する意識を高める取組を計画的にしている。	98	100
9	学校は、環境教育や清掃活動等を通して学校を美しくしようと努力している。	98	100
10	学校は、学校だより・学級だよりや個人懇談、ホームページなどを通じて、子供たちの学習や生活の様子等を知らせている。	100	100

#### ② 保護者の方の振り返り

<A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない>

番号	チェック内容	A+B	
		R5	R6
1	学校からのお知らせ等は、ていねいに読んでいる。	95	98
2	学校行事、PTA活動等には積極的に参加し、協力しようと努めている。	96	93
3	子供のことや心配なことがあるときは、担任や管理職に相談している。	96	96
4	学校や友達の話聞く等、お子さまとのコミュニケーションを積極的に取り、子供の学習状況や生活状況を把握するように努めている。	98	98
5	家庭でのしつけ（あいさつ、言葉づかい、食習慣など）に積極的に取り組んでいる。	96	89

※集計右側の数値は、A「そう思う」 B「だいたいそう思う」の割合の合計です。

○ ほとんどの項目において、90%を上回る高い評価をいただきました。特に、次の5つの項目については、100%を達成しました。

- 2「学校は、授業や教育活動等を進んで保護者や地域に公開しようと努めている」
- 3「学校は、子供たちに基礎学力を身につけようと努めるとともに、家庭での学習習慣（宿題をきちんとするなど）を定着させるために取り組んでいる。」
- 8「学校は、安全（交通安全、事故防止、不審者対策など）に対する意識を高める取組を計画的にしている」
- 9「学校は、環境教育や清掃活動等を通して、学校を美しくしようと努力している」
- 10「学校は、学校だより・学級だよりや個人懇談、ホームページなどを通じて、子供たちの学習や生活の様子等を知らせている」

次のページでは、学校教育目標「心豊かで、たくましい子どもの育成～自ら気づき、考え、実行できる子どもの育成～」とアンケート結果を照らし合わせて分析します。この教育目標が示す「自立」「思考力」「心の豊かさ」を育むためには、学校の教育活動や家庭との連携が重要です。いくつかの評価項目をあげながら、どのような改善策が必要か考えていきます。

## (2) 結果からの考察

- 「教育目標や教育方針の周知」について、98%が教育目標や方針を理解しているとの回答でした。この高い評価は、学校が目標を明確に伝え、保護者や地域と共有している証だと考えます。「心豊かで、たくましい子どもの育成」という目標に対して、保護者と学校が一貫して教育方針を理解し共有することは非常に大切であり、さらに協力を呼びかけることで、目標達成がより現実的になります。今後も、教育目標に関連した具体的な活動や進捗を定期的に報告する機会を設け、保護者の理解をさらに深め、協力体制を促進していきます。
- 「授業や教育活動の公開」については、100%という高評価をいただきました。教育目標に関連して、授業内容がどれほど実践的で自主的な学びを促進しているかを示す重要な指標です。授業公開を通じて、子供たちが自発的に考え、行動する様子を見て、教育の質を実感していただくことができます。今後も、授業公開を通じて、「自ら考え、実行する力」を育む取組を保護者に分かりやすく説明し、理解と協力をさらに得られるようにします。また、体験型授業やプロジェクト学習など、自主的な学びの機会を増やしてまいります。
- 「基礎学力と家庭での学習習慣」についても、100%という高評価でした。基礎学力の定着は、「自ら気づき、考え、実行できる」子供の育成に不可欠な要素です。学力の基礎がしっかりと築かれた上でこそ、自主的に考え、実行する力が育まれます。また、「自ら考える」ためには、基礎学力だけでなく、問題解決能力やクリティカルシンキング（批判的思考）を養う取組が必要です。家庭でも、学習の進捗や習慣化のサポートを強化するために、家庭学習支援の方策を具体的に検討していきます。
- 「豊かな体験活動を通じた教育」についても肯定的な評価をいただきました。「心豊かで、たくましい子ども」という目標において、地域や自然とのふれあいは重要な要素です。地域の人々や自然から学ぶことで、子供たちは人間関係や環境への感受性を育むことができます。今後も、地域と連携した体験活動やフィールドワークを定期的の実施し、子供たちが実際に感じて学ぶ機会を増やしてまいります。
- 読書活動への取組については、89%の肯定的評価でしたが、全体的に改善の余地があります。児童アンケートでは、「すすんで読書をする」は57%と低い自己評価結果が出ています。自ら考え、実行できる力を育むためには、読書を通じて自己の内面を深めることが大切です。読書は、子供たちに批判的な思考や論理的思考を養う手段にもなります。また、多様な考え方や価値観を理解するためにも、豊かな読書活動が不可欠です。読書活動にもっと力を入れるために、図書館や読書指導の充実を図り、読書週間や読書感想文コンテストなどのイベント開催も検討してまいります。
- 「いじめ防止・仲間づくり」については、高評価ですが、7%が「改善が必要」と感じています。「心豊かで、たくましい子ども」の育成には、他者との協力や共感力を育むことが欠かせません。定期的にアンケートを実施するとともに、いじめ防止の活動や仲間づくりに力を入れることで、心の豊かさや人間関係のスキルを育てていきます。また、感情のケアや対話スキルを育てるプログラムも実施し、集団活動を通じて協働する力を養う取組を進めてまいります。

自由記述の欄に、学校の取組についてのたくさんの貴重なご意見を寄せていただきました。ご意見からは、保護者の皆さまが、学校の取組を広い心で見守り、ともに考え、進もうとしてみてくださいのお気持ちや、力を合わせて子供たちや藍畑小学校をよくしていきたいという熱意が伝わり、とても心強くありがたく感じております。

皆さまからいただいた評価やご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動や指導に生かしてまいります。これからも、変わらぬご支援とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。